(19.09)　Tイ-0034-08

ドア用網戸

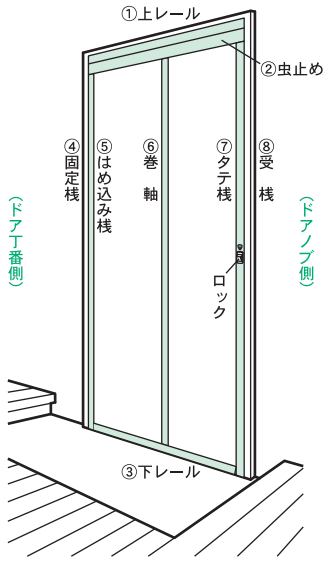
ニュー ロータリー網戸　取付説明書

ISO 14001 9001 株式会社川口技研
営業本部 〒333-0844 埼玉県川口市上青木1-14-41
TEL 048(255)5411　FAX 048(255)8228
ホームページ https://www.kawaguchigiken.co.jp/

この度は、ニューロータリー網戸をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。
取付ける前に、この取付け説明書をよくお読みのうえ、正しく取付け・ご使用下さい。

要保管

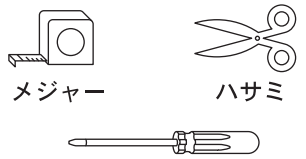
■完成参考図



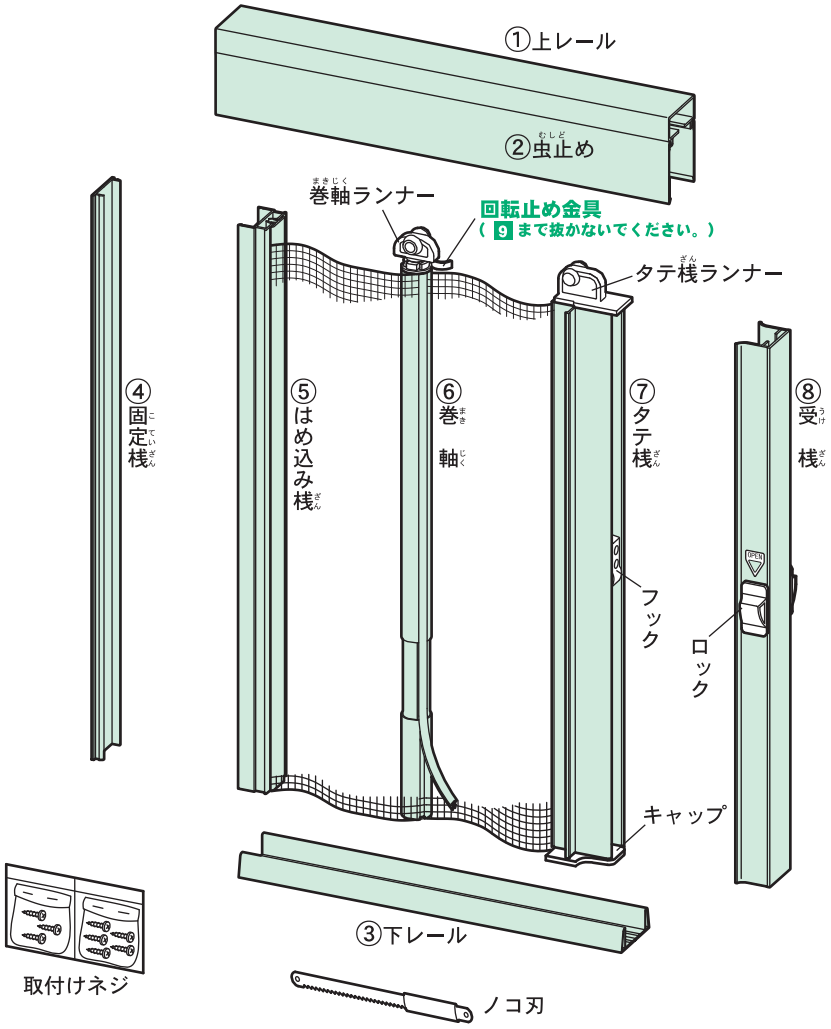
■取付けできる寸法

幅	50cm～86cm
高さ	165cm～185cm

■使用工具



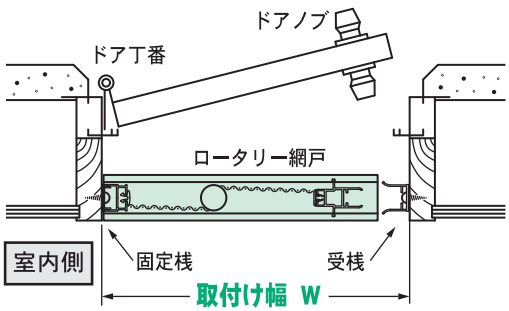
■部品一覧　下記の通り部材がそろっているかご確認下さい。

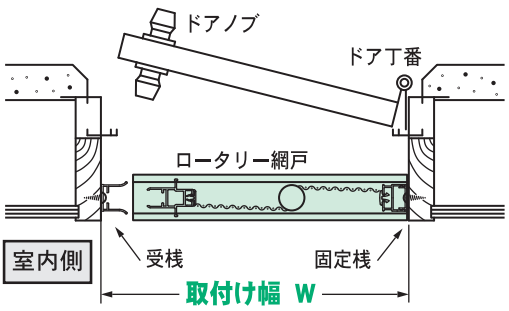


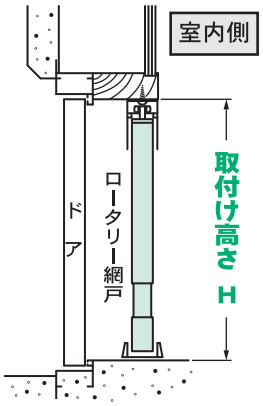
取　付　け　位　置

● 網戸はドア室内側の木の部分に取付けます（床を除く）。木以外の場合には下表をご参照ください。

	材　質			取付けの可・不可	
取付けるところが木以外の場合	壁紙	裏側の材質	木	○	ネジがきく場合は取付けできます。
			石膏ボード	×	ネジが空転してしまうため取付けできません。
	スチール（鉄）・アルミ			×	そのままでは取付けできません。下穴開けが必要となります。
	コンクリート			×	取付けできません。







ドアの開きが左右どちらでも取付けできます。（木枠がなければ、そのままでは取付けできません。）

どちらの場合も（固定桟　…ドア丁番側／受　桟　…ドアノブ側）に取付けます。

別売品の取付け順序について

ニューロータリー網戸を取付ける際、ドアの形状により、別売品の「突っ張り支柱」「ドアクローザよけ部品」が必要となる場合がありますが、必ず下記の順序で取付けを行って下さい。

❶ 突っ張り支柱 TS－24（別売品） ➡ **❷ ドアクローザよけ部品** CY－2（別売品） ➡ **❸ ニューロータリー網戸**

■ドアの形状と取付け順序

※引戸の場合、網戸を取付けるところに邪魔をするものがある場合は取付けできません。

	ドア			袖付・親子ドア			両袖ドア			引戸	
	ドア（ドアクローザなし）	ドア（ドアクローザ付）	ランマ付ドア	袖付・親子ドア（ドアクローザなし）	袖付・親子ドア（ドアクローザ付）	ランマ付袖付・親子ドア	両袖ドア（ドアクローザなし）	両袖ドア（ドアクローザ付）	ランマ付両袖ドア	引戸	ランマ付引戸
姿図			※注1			※注1			※注1		※注1
取付け順序	ロータリー網戸 ※注2	ドアクローザよけ部品 ⇩ ロータリー網戸		突っ張り支柱 1本 ⇩ ロータリー網戸 ※注2	突っ張り支柱 1本 ⇩ ドアクローザよけ部品 ⇩ ロータリー網戸		突っ張り支柱 2本 ⇩ ロータリー網戸 ※注2	突っ張り支柱 2本 ⇩ ドアクローザよけ部品 ⇩ ロータリー網戸		突っ張り支柱 1本 ⇩ ロータリー網戸 ※注2	突っ張り支柱 1本 ⇩ ドアクローザよけ部品 ⇩ ロータリー網戸

注1）ドアクローザがなくても、上レール取付け補助材として「ドアクローザよけ部品」を使用します。
注2）取付け高さHが網戸の高さより高い場合は、「ドアクローザよけ部品」を使用して高さを調整します。

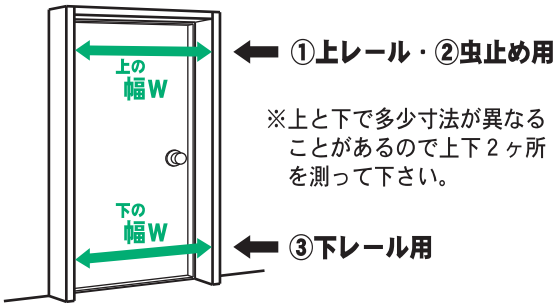
取　付　け　順　序

⚠ **作業中は、部材を直射日光に当てないようにしてください。変形する恐れがあります。**

1 ヨコ部材 ①上レール・②虫止め・③下レール の切断

網戸を取付ける木枠の『幅W』を測って、各部材を下図のように切断して下さい。

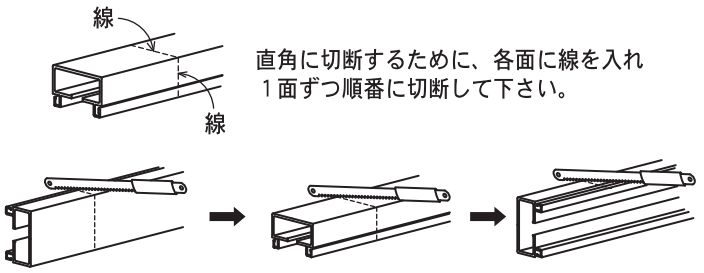
注意）別売品『突っ張り支柱』を使われるドアのタイプの方は、『突っ張り支柱』の説明書をご覧になり、『幅W』を測って下さい。



※上と下で多少寸法が異なることがあるので上下2ヶ所を測って下さい。

⚠ ノコ刃や部材の切口等でケガしないようにご注意下さい。

切断する時のポイント

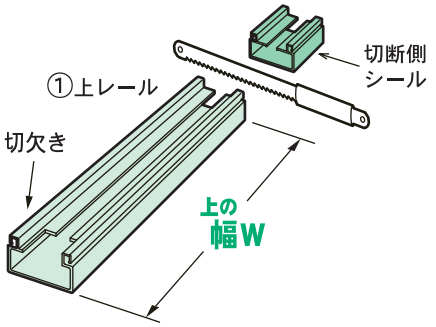


直角に切断するために、各面に線を入れ1面ずつ順番に切断して下さい。

※ **2** の『タテ部材の切断』においても同様に切断して下さい。

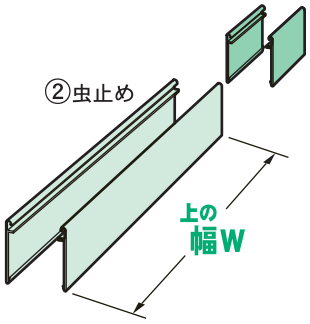
上レールの切断

虫止めを抜いて、**上の幅W**に合わせて切欠きの反対側を切ります。



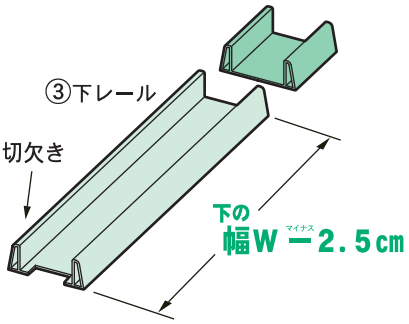
虫止めの切断

上レールと同寸法に切ります。



下レールの切断

下の幅Wより2.5cm 短くなるように切欠きの反対側を切ります。



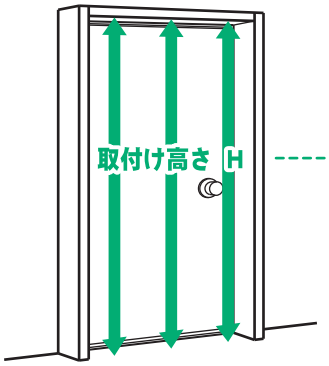
2 タテ部材 ④⑤⑥⑦⑧ の切断

⚠ ノコ刃や部材の切口等でケガしないようにご注意下さい。

切る寸法は？

まず、取付け場所の『取付け高さH』を測って下さい。

注意）別売品『ドアクローザよけ部品』を使われるドアのタイプの方は、『ドアクローザよけ部品』の説明書をご覧になり『**取付け高さH**』を測って下さい。



※左・中・右で多少寸法が異なることがあるので、３ヶ所測って一番小さい寸法を『取付け高さH』として下さい。

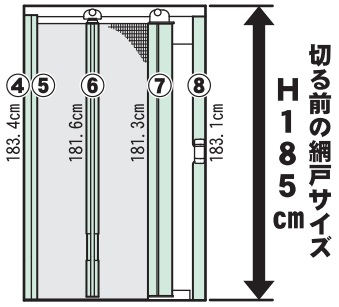
各タテ部材をそのまま切らずに使用すると『取付け高さ185cm』に合うようにできあがっています。
『取付け高さH』を測り、185cmとの差（＝切捨て寸法）を切り捨てて下さい。

切る前の網戸サイズ **185cm** ー 取付け高さH **cm** ＝ 切捨て寸法 **cm**
（部材の長さではありません。）　（測った寸法）

『切り捨て寸法』とは？

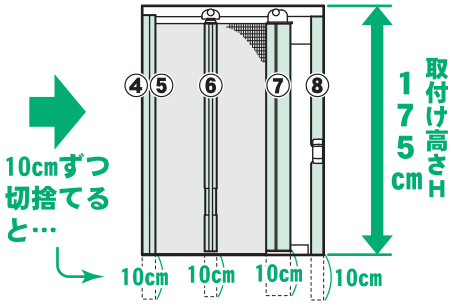
切る前の網戸サイズはH185cm用にできています。

部材を切らずに取付けると185cmの高さに合うようにできています。



例 取付け高さHが175cmの場合

185cm－175cm＝10cm（←切捨て寸法）
各部材をそれぞれ10cmずつ切りつめると取付け高さ175cmに合うようになります。

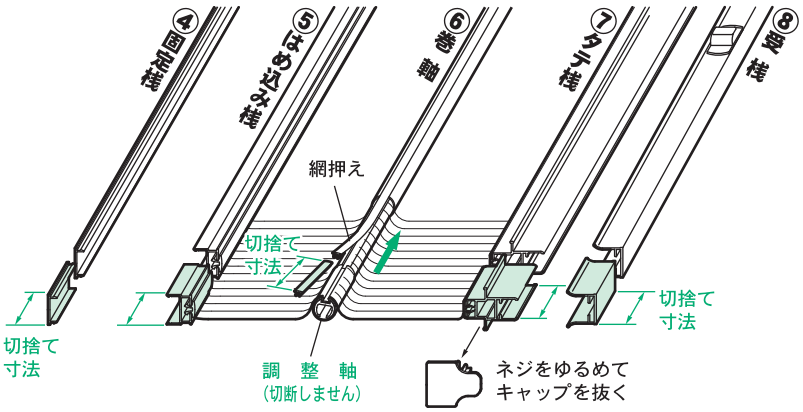


（ヨコ部材・他部品⑨⑩等の関係上、各タテ部材の長さはそれぞれ異なり、『取付け高さH』より短くなりますが、取付け高さ175cmに合うように設定されます。）

どこを切断？

（１）タテ桟のキャップを抜きます。
（２）④・⑤・⑦・⑧はすべて下側を同じ『切捨て寸法』で切ります。
⑥は網押えのみ『切捨て寸法』で切ります。
（調整軸はウラ側のネジをゆるめればスライドできます。）
切断の際には網を傷つけないようにご注意下さい。

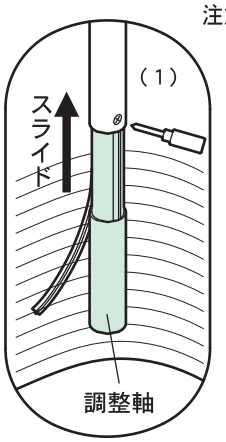
※④と⑧は切断側のシールが貼ってあります。

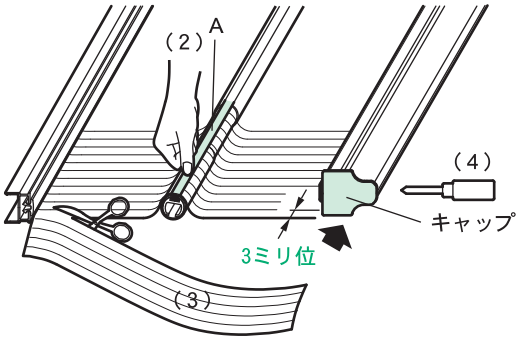


切断の後

（１）巻軸下部のネジをゆるめ、切った網押えの長さに調整軸をスライドさせ、ネジを締め固定します。
（２）網押えでA部から強く押し、網を固定します。
（３）網を使用する部材より３ミリ位長めで切って下さい。
（４）タテ桟にキャップを差し込みネジを締めます。

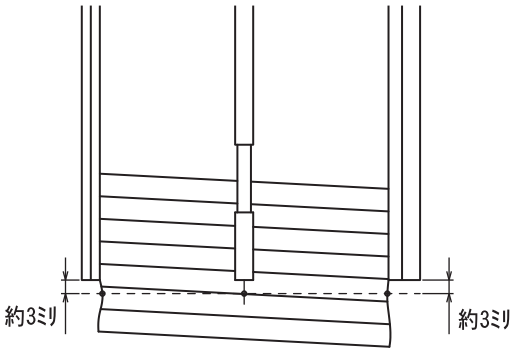
注意！　切断しないでご使用の場合（185cmで使用）でも網を切り、キャップのネジをしっかり締めて下さい。





◎網を切断する時の注意点

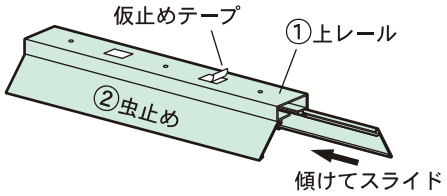
網の性質上、伸び縮みがあるため下部の横目は多少斜めになっている場合があります。
タテ部材の切断したところから平行に３ミリ位下側を目安に網目に合わせることなくハサミで切り取って下さい。



3 上レールの取付け

※イラストは、室内側から見てドア丁番が左の場合です。ドア丁番が右側の場合は、逆向きになります。

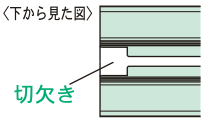
（1）上レールに虫止めを両側とも差し込み、仮止めテープをはがします。

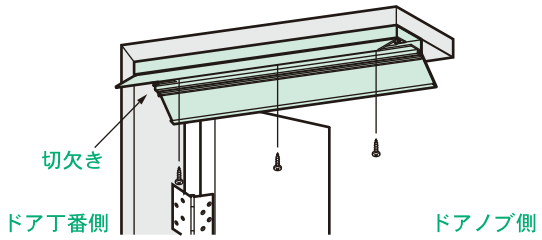


（2）切欠きをドア丁番側にして、取付けネジで固定します。
※逆に付けると網戸がはずれますので、ご注意下さい。

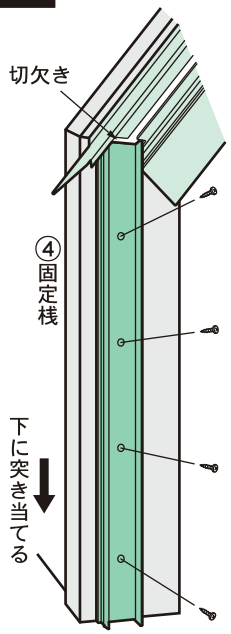
ポイント

上レールの切欠きをドア丁番側にします。





4 固定桟の取付け



※ドア丁番側に取付けます。

（1）固定桟は切断した方を下にします。

（2）固定桟の上部を上レールの切欠きの中に入れます。
上レールの中心と合わせ、垂直になるように固定桟を下に突き当てます。

（3）取付けネジで取付けます。

※必ずすべての穴をネジ止めして下さい。

5 受桟の取付け

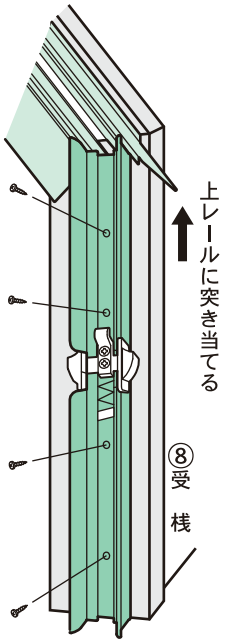
※ドアノブ側に取付けます。

（1）受桟は切断した方を下にします。

（2）上レールの中心と合わせ、垂直になるように受桟を上レールに突き当てます。

（3）取付けネジで取付けます。

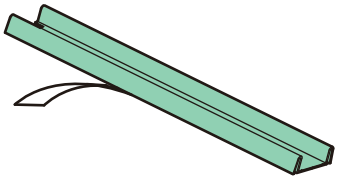
※必ずすべての穴をネジ止めして下さい。

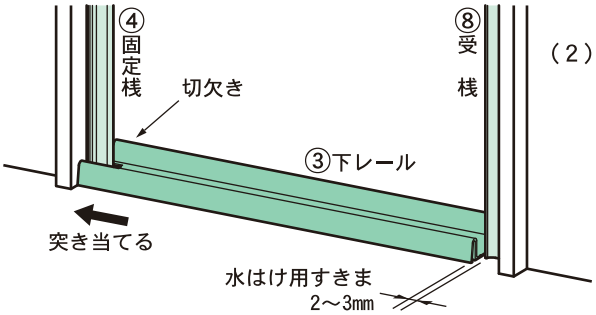


6 下レールの取付け

⚠ 取付け前に周辺の砂やほこりを取り除き、床が乾いた状態にして下さい。

（1）ハクリ紙をはがします。

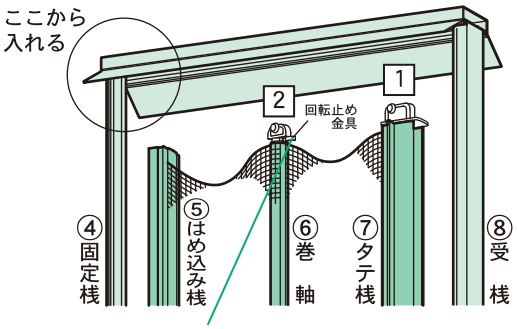




（2）切欠きを固定桟側に突き当て、粘着テープで貼付けます。

7 上レールにランナーを入れる

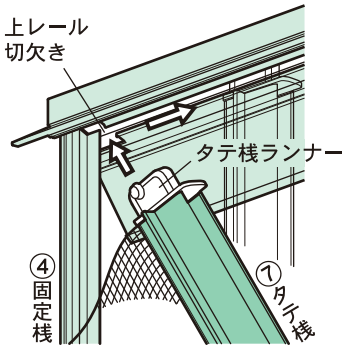
1 → 2 の順序で右図のように取付けます。
はめ込み桟はここでは取付けません。



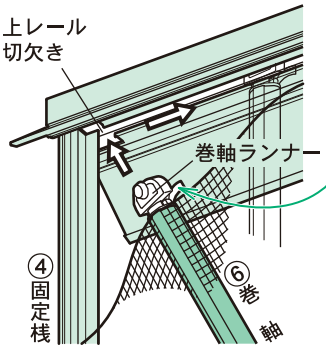
※回転止め金具はまだ抜かないで下さい。
取付け前に回転止め金具が抜けてしまった場合には、『回転止め金具の取付け方法』をご覧下さい。

⚠ 回転止め金具が外れないように注意して下さい。
巻軸ランナーが急回転してケガをする恐れがあります。

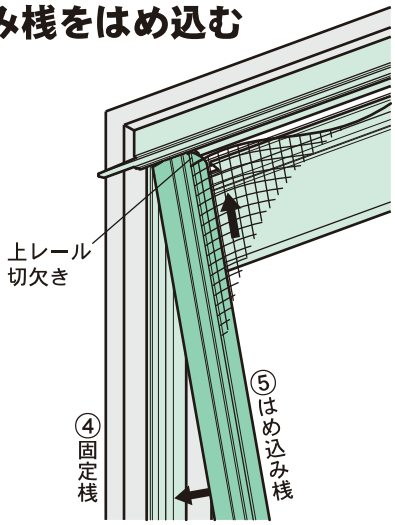
1 タテ桟ランナーを上レールの切欠き（固定桟側）から入れます。



2 次に巻軸ランナーを同様に入れます。



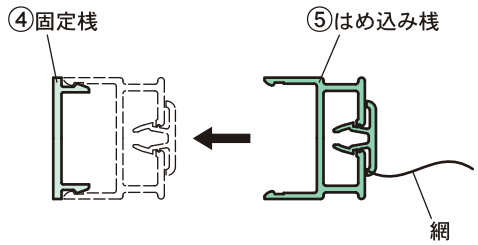
8 はめ込み桟をはめ込む



はめ込み桟を上レールの切欠きの中に入れてから
下レールに突き当て、固定桟にはめ込みます。

ポイント

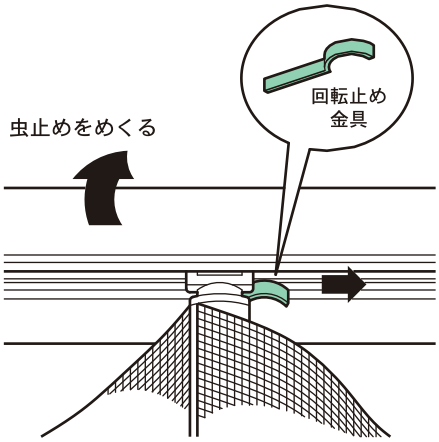
〈上から見た図〉



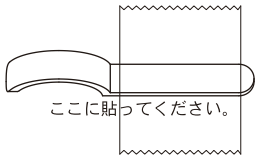
9 回転止め金具を抜く

巻軸ランナー部にさしてある回転止め金具を抜くと、回転力が発生し、ネットが巻取られます。

巻軸を押さえながら回転止め金具を抜き、ゆっくりと手を離して下さい。



◎回転止め金具は、網戸本体を取りはずす時やネット交換の時に必要となりますので、セロテープでここに貼付けて、大切に保管しておいてください。



● ネット交換の際は、「取替えネット ニューロータリー網戸用」(別売品)を販売店よりお求め下さい。
● 万が一、各部品が破損した場合も、販売店よりお取り寄せできます。

取 扱 い 説 明 書

ー安全上のご注意ー

●ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

⚠警告 … この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

⚠注意 … この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容

⚠警告	・網戸に寄りかかったり、蹴る等の強い力はかけないで下さい。 網戸のはずれなどにつながり、ケガをしたり損害を与えることがあります。 ・本製品のロックは、防犯には役立ちません。戸締まり時は必ずドアで施錠して下さい。 ・ネットにタバコの火などの火気は絶対に近づけないで下さい。
⚠注意	・強風時には使用しないで下さい。風により自動収納しない場合があります。 ・網戸を開閉する際、指をはさまないようにご注意下さい。 ・無理な開閉や乱暴な取扱いをすると、ケガや破損の原因となりますのでご注意下さい。 ・下レールにゴミ等がたまると網戸がスムーズに開閉できなくなります。 下レールとその周辺はこまめに掃除して下さい。

ーお手入れ方法ー

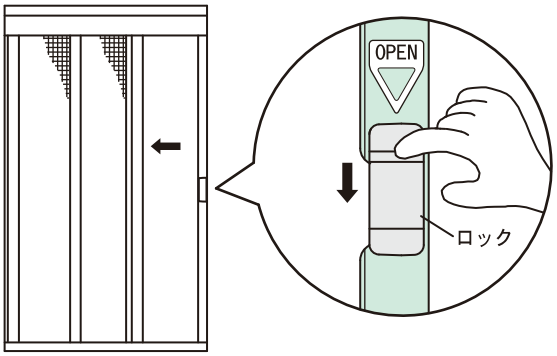
・日常的には乾いた布で拭いて下さい。
・汚れがひどい場合には、中性洗剤で洗い、その後カラ拭きして下さい。
・シンナー、ベンジン、アルコール、酸性・アルカリ性洗剤は使用しないで下さい。
・たわしや金属ブラシなどでこすらないで下さい。破損やキズの原因となります。

ーこんな場合のチェック方法ー

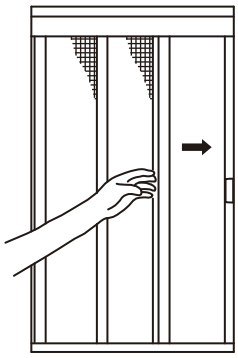
●網にしわができるとき … いったん網をひろげ、しわをとって巻軸に巻取らせます。
●巻取りにくいとき … 下レール面に巻軸、タテ桟キャップ、ネット等がこすってないか確認して下さい。
それでも動きが悪い場合には、上レールの溝部およびランナーに潤滑剤を塗布してください。
（潤滑剤は市販の油性またはシリコーン性のものをご使用ください。）

■操作方法

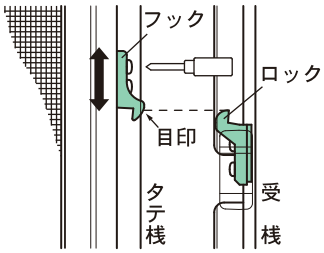
●開ける時は、指でロックを軽く下げて下さい。
開閉の際、指をはさまないようにご注意下さい。



●閉める時は、タテ桟の中央を持って、ていねいに操作し、ロックにかけて下さい。
ロックのかかりがずれている場合には下図のように調整して下さい。



ロックのかかりの調整

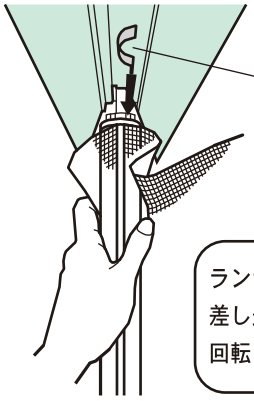


タテ桟のフックのネジを２本ともゆるめて、目印を受桟のロックの先端と合わせ、ネジを締めて下さい。

■網戸本体をはずす場合

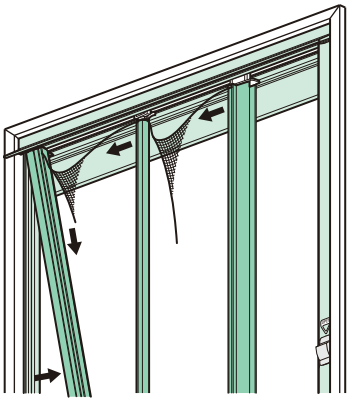
(1)巻軸の網押えを図のように上レールの溝の向きにして回転止め金具を差し込んで下さい。

回転止め金具を紛失した場合は、取りはずすと回転力が失われます。
再度取付ける場合は **回転止め金具の取付け方法** の要領で行って下さい。



⚠注意
ランナーをはずす際、回転止め金具を差し込まないと巻軸ランナーは、急に回転しますので十分ご注意して下さい。

(2)はめ込み桟を固定桟からはずします。
(3)取付け順序 **7** と逆の要領で、巻軸とタテ桟を上レールのからはずします。



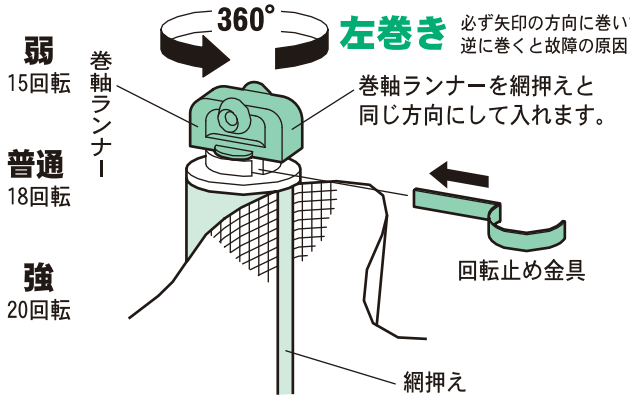
⚠保管する時の注意
タテ桟を芯にして網をきっちりと巻き、紙等にくるんで垂直に保管して下さい。
巻かずに長期間斜めにたてかけると部材が曲がる場合があります。

■再度網戸本体を取付ける場合

取付け順序 **7** **8** **9** を行って下さい。

●回転止め金具を取付けていない場合には、下の方法で巻軸にセットして下さい。（取付け前に抜けてしまった場合も同様の手順で行って下さい。）

回転止め金具の取付け方法



●巻軸ランナーを矢印の向きに18回転位巻いて、その状態を保ちながら回転止め金具を差し込みます。
●あまり強く巻き過ぎますと、巻取りスピードが速く、指をはさんでケガをする恐れがありますのでご注意下さい。

回転止め金具がない場合

18回転位巻いた巻軸ランナーを回転が戻らないように指で押さえながら上レールの切欠きより入れて下さい。

⚠ しっかりと押さえていないと、巻軸ランナーが急に回転しますのでご注意下さい。

この説明書は、ネット取替え等のため、必ず保管しておいて下さい。